

令和2年度 京丹後市の教育



峰山途中ヶ丘公園陸上競技場（リニューアル事業）

京丹後市教育委員会

「令和２年度 京丹後市の教育」発刊のことは

令和２年度の教育行政は、平成２７年３月に策定、令和元年１１月に中間見直しした京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育、「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、精力的に取り組んでまいりました。

平成２８年度より全市展開となりました小中一貫教育は５年目となり、さらに就学前から中学校卒業までの一貫性を目指す教育「保幼小中一貫教育」として、保育所・幼保連携型認定こども園・小中学校が特色を活かしながら連携の取組みを実践し、地域とともにある学校を目指し、教育活動の推進に努めました。

子育て支援関係では、小学校の臨時休業期間に放課後児童クラブを引き続き開設し、また峰山放課後児童クラブでは日曜・祝日の開設を開始するなど、保護者のニーズに応じた就労支援を行いました。

学校教育関係では、国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、児童・生徒１人１台のタブレット端末をはじめ、必要な情報機器等の整備を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止をするための衛生環境整備を行いました。学習環境の整備では、学校トイレ洋式化事業を計画的に進め、令和６年度末の完了を目指すとともに、中学校特別教室空調化事業に着手するなど、学びの環境整備を進めました。

社会教育関係では、高齢者大学などを通じて市民の学びと交流の機会を提供することを目指し準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、縮小を余儀なくされましたが、懸案となっていた「海のみえる丹後図書館」の移転整備が実現しました。社会体育関係では、東京２０２０オリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、ホストタウン推進事業として久美浜湾カヌーセンターの整備をはじめ、峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル整備などを通じて、スポーツのまちづくりを進めました。

文化財保護関係では、日本海側最大の前方後円墳である網野銚子山古墳の環境整備工事を平成２９年度より継続して実施しており、令和６年度完成を目標に進めています。

本誌「京丹後市の教育」（教育要覧）の発行は今回で１７年目となります。令和元年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教育活動及び行事等が制限される状況でございましたが、教育委員会活動を紹介する資料として、引き続き内容の一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和３年９月

京丹後市教育委員会教育長 松本 明彦

市の花「トウテイラン」

トウテイランは、8月から9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然 200 選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。



市の木「ブナ」

ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が 1 つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れておいしいお米を育て、最後には海へ流れて、貝や魚等の生き物を育てています。

温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。



市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様に永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、生き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作 作曲：藤原哲也）



京丹後市歌

詞 梅田 俊作

一、海青く 緑の半島 風そよぐ
めぐりくる 季節のなかに いだかれて
描く夢 色鮮やかに いつまでも
ふるさと色は 君の原色

二、薄曇の 雲間に光る 海原は
はるかなる 絹の道と 波つづき
季節風（うらに）に ぬかるむ大地 踏みしめて
歩いていこう 夢が道しるべ

三、さんさんと 天（そら）に子午線 時が往く
世代越え 伝え守る 手から手に
ものづくり ものがたりの 玉手箱
はるか未来へ 君に預け物

四、いにしへの 歴史をたどる 丹後路は
新しき 王国へと つづく道
手をつなごう みんなの思いが 羅針盤
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ

目 次

教育行財政

1	教育委員会委員、教育委員会組織体制図	1
2	教育委員会事務局事務分掌表	2
3	教育委員会の開催状況	6
4	教育費予算の概要	12
5	京丹後市教育振興計画進捗管理表	14
6	主要な決算の概要	19

子育て支援

1	保育所・認定こども園 運営内容	31
2	各こども園の教育内容、各保育所の保育の理念・保育の目標	32
3	放課後児童クラブ登録児童数	42
4	子育て支援センター月別登録者・利用者数	43
5	家庭児童相談種別件数	44

学校教育

1	児童生徒数及び学級数の推移	45
2	学校施設一覧	48
3	京丹後市立公立学校施設整備事業、学校施設改修事業	50
4	学校通学区、スクールバス運行	51
5	奨学金	54
6	学校再配置	56
7	保幼小中一貫教育	57
8	学校保健	58
9	学校給食	64
10	就学援助	67
11	教育指導	68
12	学校安全	73
13	不登校対策	76
14	研究等指定校	77
15	学校情報化推進	78
16	国際交流	81

社会教育

1	社会教育事業の概要	83
2	社会教育施設概要	91
3	公民館	93
4	図書館	120
5	社会体育事業概要	129
6	社会体育施設一覧	136

文化財

1	文化財保護事業	138
2	文化財保護関係施設	144
3	指定文化財	145

各種委員名簿

1	各種委員名簿	147
---	--------	-----

教 育 行 財 政

1 教育委員会委員

令和2年4月1日現在

教 育 長 吉 岡 喜代和 (平成28年7月8日～2期目)

教育長職務代理者 野 木 三 司 (平成24年1月30日～3期目)

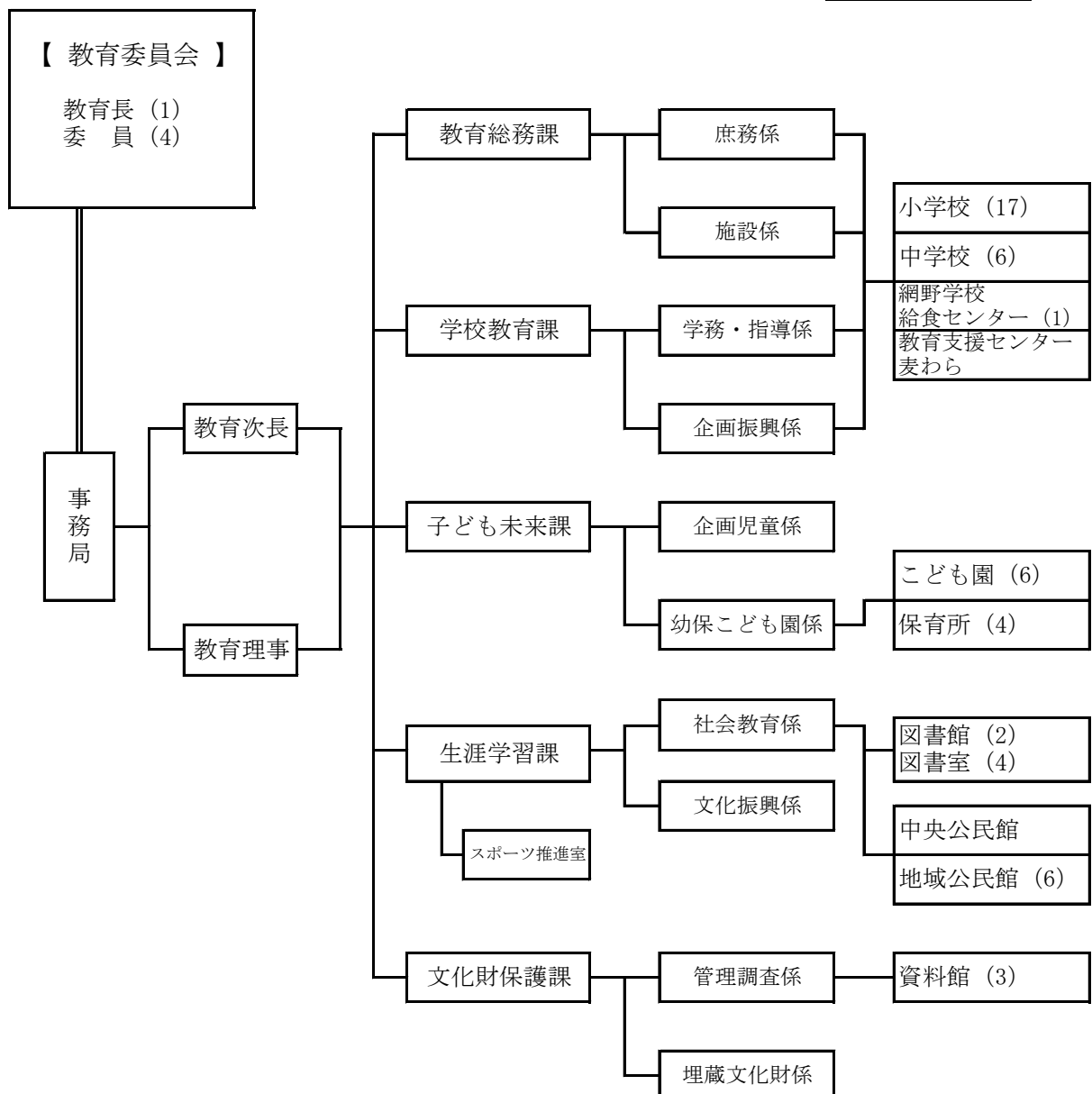
委 員 久 下 多賀子 (平成28年6月30日～2期目)

委 員 田 村 浩 章 (平成28年7月8日～1期目)

委 員 安 達 京 子 (平成29年7月8日～1期目)

教育委員会組織体制図

令和2年4月1日現在



2 教育委員会事務局事務分掌表

教育総務課

ア 庶務係

- (ア) 教育振興基本計画に関すること。
- (イ) 教育委員会の会議に関すること。
- (ウ) 学校の設置、廃止等に関すること。
- (エ) 規則等の制定及び改廃に関すること。
- (オ) 職員の任免、進退、賞罰、服務及び身分に関すること。
- (カ) 職員の給与及び福利厚生に関すること。
- (キ) 職員の公務災害に関すること。
- (ク) 非常勤職員の任用に関すること。
- (ケ) 京丹後市立学校勤務府費負担教職員安全衛生委員会に関すること。
- (コ) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (サ) 公印の管理に関すること。
- (シ) 文書の収受及び発送に関すること。
- (ス) 教育費の予算編成及び決算に関すること。
- (セ) 奨学金に関すること。
- (ソ) 公用車の運行管理に関すること。
- (タ) 広報に関すること。
- (チ) 叙勲及び表彰に関すること。
- (ツ) 寄附採納に関すること。
- (テ) 外国語指導助手に関すること。
- (ト) 教育委員会の庶務に関すること。
- (ナ) (ア)から(ト)までに掲げるもののほか、他の課に属さないこと。

イ 施設係

- (ア) 学校施設の基本計画及び実施計画に関すること。
- (イ) 学校施設の維持管理に関すること。
- (ウ) 学校施設の防災に関すること。
- (エ) 学校施設の国庫負担金(補助金)に関すること。
- (オ) 学校施設の施設台帳及び財産台帳に関すること。
- (カ) 学校跡施設の維持管理、利活用に関すること。
- (キ) (ア)から(カ)までに掲げるもののほか、教育施設に関すること。

学校教育課

ア 企画振興係

- (ア) 学校規模の適正化等の調査及び検討に関すること。
- (イ) 学校再配置に関すること。
- (ウ) 学校教育改革構想に関すること。
- (エ) 教科書の採択に関すること。
- (オ) 通学区域に関すること。
- (カ) 学校評議員に関すること。
- (キ) 学級編成に関すること。
- (ク) 児童生徒数の推計に関すること。
- (ケ) 指導主事の服務に関すること。
- (コ) 教育相談の総括に関すること。
- (サ) 教育支援センターに関すること。
- (シ) 学校教育の情報発信に関すること。
- (ス) スクールバスの運行管理に関すること。
- (セ) 児童生徒の国際交流に関すること。
- (ソ) (ア)から(セ)までに掲げるもののほか、企画振興に関すること。

イ 学務・指導係

- (ア) 就学に関すること。
- (イ) 学齢簿に関すること。
- (ウ) 教科書の無償給与に関すること。
- (エ) 学校保健、学校安全に関すること。
- (オ) 小中一貫教育の実践に関すること。
- (カ) 教育のまちづくりの推進に関すること。
- (キ) 学校給食、食育に関すること。
- (ク) 学校経営、教育活動及び教育課程の指導助言に関すること。
- (ケ) 研究指定校に関すること。
- (コ) 教職員及び講師の任免並びに内申に関すること。
- (サ) 教職員の免許更新及び研修に関すること。
- (シ) 教職員の服務、公務災害及び給与事務に関すること。
- (ス) 学校の管理運営予算及び教育振興予算の執行に関すること。
- (セ) スクールサポーターの任用に関すること。
- (ソ) (ア)から(セ)に掲げるもののほか、学務・指導及び学事に関すること。

子ども未来課

ア 企画児童係

- (ア) 子ども・子育て支援事業計画の策定及び進行管理に関すること。
- (イ) 子ども未来まちづくり審議会に関すること。
- (ウ) 少子化対策、子育て支援の企画及び調整に関すること。
- (エ) 要保護児童対策地域協議会に関すること。
- (オ) 家庭子ども相談室に関すること。
- (カ) 放課後児童健全育成事業に関すること。
- (キ) ファミリー・サポート・センターに関すること。

イ 幼保こども園係

- (ア) 幼稚園、保育所及び認定こども園の設置、廃止等に関すること。
- (イ) 就園及び保育の実施に関すること。
- (ウ) 幼稚園の教育課程、保育所の保育計画及び認定こども園の教育・保育計画に関すること。
- (エ) 保育費用等の徴収に関すること。
- (オ) 入園・入所児童の健康安全に関すること。
- (カ) 私立保育所及び無認可保育所に関すること。
- (キ) 保育所の一時預かり事業に関すること。
- (ク) 認定こども園の子育て支援事業に関すること。
- (ケ) 子育て短期支援事業に関すること。
- (コ) 子育て支援センターの運営に関すること。

生涯学習課

ア スポーツ推進室

- (ア) スポーツ推進審議会に関すること。
- (イ) スポーツ及びレクリエーションの振興に関すること。
- (ウ) 体育施設の整備及び維持管理に関すること。
- (エ) 社会教育関係団体に関すること。
- (オ) スポーツ観光の推進に関すること。
- (カ) スポーツイベント等に関すること。
- (キ) (ア)から(カ)までに掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

イ 社会教育係

- (ア) 社会教育委員会議に関すること。
- (イ) 社会教育計画の立案に関すること。
- (ウ) 公民館に関すること。
- (エ) 図書館に関すること。
- (オ) 社会教育施設の整備及び維持管理に関すること。
- (カ) 社会教育事業に関すること。
- (キ) 社会教育関係団体に関すること。
- (ク) (ア)から(キ)までに掲げるもののほか、社会教育に関すること。

ウ 文化振興係

- (ア) 文化芸術の振興に関すること。
- (イ) 文化芸術関係団体に関すること。
- (ウ) (ア)、(イ)に掲げるもののほか、文化振興に関すること。

文化財保護課

ア 管理調査係

- (ア) 文化財保護審議会に関すること。
- (イ) 文化財保護団体に関すること。
- (ウ) 資料館、文化館等文化財関係施設に関すること。
- (エ) 文化財の普及啓発に関すること。
- (オ) 文化財補助金に関すること。
- (カ) 収蔵資料の管理に関すること。
- (キ) 市史編さんに関すること。
- (ク) 文化財の調査及び研究、収集並びに保存に関すること。
- (ケ) 文化財情報提供及び指導助言に関すること。
- (コ) (ア)から(ケ)までに掲げるもののほか、文化財の管理調査に関すること。

イ 埋蔵文化財係

- (ア) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (イ) 史跡の整備に関すること。
- (ウ) その他埋蔵文化財に関すること。

3 教育委員会の開催状況

(1)教育委員会審議案件等一覧(令和2年4月～令和3年3月)

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和2年4月3日	4月 定例会	28	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について	大宮庁舎
		29	京丹後市指導主事等服務規程の廃止について	
		報告4号	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	
		報告5号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について	
		報告6号	京丹後市立こども園・保育所内科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について	
		報告7号	京丹後市子ども未来まちづくり審議会委員の委嘱について	
		30	京丹後市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する規則の制定について	
		31	京丹後市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針について	
		32	専決処分の承認について（京丹後市中学生海外派遣事業参加費補助金交付要綱の一部改正について）	
令和2年5月1日	5月 定例会	33	京丹後市図書館協議会委員の任命について	大宮庁舎
		34	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について	
		報告8号	京丹後市立学校評議員の委嘱について	
		報告9号	京丹後市社会教育委員の委嘱について	
		35	京丹後市たちばな会館条例施行規則の一部改正について	
令和2年6月1日	6月 定例会	36	京丹後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	大宮庁舎
		37	京丹後市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
		38	京丹後市指定文化財の指定の解除に係る諮問について	
		39	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について	
		報告10号	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について	
		報告11号	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について	
		報告12号	公文書非公開決定に係る審査請求について	
		40	京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	
		41	令和２年度京丹後市小町ろまん全国短歌大会の開催に係る後援について	
令和2年6月19日	6月 臨時会	42	京丹後市学校運営協議会委員の委嘱について	大宮庁舎
		43	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について	
		44	京丹後市子どものための保育給付を受ける資格等の基準を定める条例施行規則の一部改正について	
		45	京丹後市立保育所及び認定こども園延長保育事業実施要綱等の一部を改正する要綱の制定について	
		46	京丹後青年会議所アートプロジェクト「みんな知ってそうで 誰も知らない音」の開催に係る後援について	
		報告13号	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について	
		報告14号	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について	
		47	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について	

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和2年7月8日	7月定例会	48	良質な音楽によるこどもの豊かな情操教育及び自己実現を支援する活動に係る後援について	大宮庁舎
		報告15号	京丹後市教育振興計画進捗管理について	
		報告16号	京丹後市丹後地域公民館耐震改修等工事（建築主体工事）請負契約の締結について	
令和2年8月3日	8月定例会	49	京丹後市琴引浜鳴き砂文化館の指定管理者の指定について	大宮庁舎
		50	欠番	
		51	令和2年度京丹後市文化協会小さな発表会配信事業の開催に係る共催について	
		報告17号	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について	
		報告18号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について	
		報告19号	行政財産の用途廃止について	
		52	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例施行規則及び京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について	
		報告20号	京丹後市情報公開・個人情報保護審査会による答申について	
令和2年8月20日	8月臨時会	53	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について	大宮庁舎
		54	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について	
		55	田中彩子モノオペラ「細川ガラシャ」京丹後公演の開催に係る後援について	
令和2年8月27日	8月臨時会	56	令和3年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について	大宮庁舎
		57	令和3年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について	
令和2年9月1日	9月定例会	58	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について	大宮庁舎
		59	京丹後市立学校臨時休業対策費補助金交付要綱の制定について	
		60	京丹後市指定文化財の指定について	
		61	京丹後市指定文化財の指定の解除について	
		62	2020年度北丹陸協記録会（第1回・第2回）の開催に係る後援について	
		報告21号	令和元年度峰山途中ヶ丘公園陸上競技場改修工事請負契約の変更に ついて	
令和2年9月23日	9月臨時会	報告22号	財産の取得について《京丹後市立小中学校タブレット端末等コンピュータ物品》	大宮庁舎
		報告23号	財産の取得について《京丹後市立小中学校電子黒板》	
		報告24号	財産の取得について《京丹後市立中学校高速カラー印刷機》	
令和2年10月1日	10月定例会	63	京丹後市立学校ハラスメント防止要綱の一部改正について	大宮庁舎
		64	京丹後市立図書館条例施行規則の一部改正について	
		65	（一社）京丹後市青年会議所 創立55周年記念事業「教育をテーマとした番組の配信」の開催に係る後援について	
		報告25号	公文書の存否を明らかにしない決定及び個人情報不開示決定に係る審査請求について	
令和2年11月2日	11月定例会	66	京丹後市特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者及び特定子ども・子育て支援施設等の確認等に関する規則の一部改正について	大宮庁舎
		67	令和元年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について	
		68	未来を背負う京丹後の子ども達に光のクリスマスプレゼントの開催に係る後援について	

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和2年11月16日	11月臨時会	69	京丹後市久美浜湾カヌーセンター条例の制定について	大宮庁舎
		70	京丹後市久美浜湾カヌーセンター条例施行規則の制定について	
		71	「作曲家・平野一郎の世界2021 海の聲 vox maris ～ほろびても滅びえぬもの～」丹後印象派”福岡清の絵画と共に」の開催に係る後援について	
令和2年12月1日	12月定例会		議事なし	大宮庁舎
令和2年12月16日	12月臨時会	報告26号	京丹後市情報公開・個人情報保護審査会による答申について	大宮庁舎
令和3年1月4日	1月定例会	1	京丹後市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について	大宮庁舎
		2	京丹後市青少年スポーツ協会補助金交付要綱の制定について	
		3	令和3年度全国学力・学習状況調査の実施について	
令和3年2月1日	2月定例会	4	令和3年度「学校教育指導の重点」について	アグリセンター大宮
		5	令和3年度「社会教育推進の重点」について	
		6	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会設置要綱及び京丹後市学校教育連携専門部会設置規程の一部改正について	
		7	京丹後市立学校ハラスメント防止等要綱の一部改正について	
令和3年2月17日	2月臨時会	8	令和3年度教育委員会関係予算について	大宮保健センター
		9	京丹後市文化芸術振興審議会条例の制定について	
		10	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
		11	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業保育料徴収条例の一部改正について	
		12	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について	
		13	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について	
		14	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について	
		15	京丹後市高等学校全国募集入学生応援補助金交付要綱の制定について	
		16	京丹後市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱の制定について	
		17	教育委員会事務局職員の処分について	
令和3年3月1日	3月定例会	18	令和3年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について	峰山地域公民館
		19	京丹後市学校施設の長寿命化計画の策定について	
		20	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について	
		21	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について	
		22	京丹後市立学校共同学校事務室運営規程の制定について	
		23	京丹後市子育て環境支援設備整備事業補助金交付要綱の制定について	
		24	京丹後市立認定こども園預かり保育事業実施要綱の一部改正について	
		報告1号	京丹後市丹後地域公民館耐震改修等工事請負契約の変更について	
		25	京丹後市教育委員会教育長の辞職の同意について	

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和3年3月12日	3月臨時会	26	令和3年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について	大宮庁舎
		27	京丹後市久美浜湾カヌーセンター条例施行規則の一部改正について	
		28	京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金交付要綱の制定について	
		29	京丹後市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の一部改正について	
		報告2号	公文書部分公開決定に係る審査請求について	
令和3年3月24日	3月臨時会	30	令和3年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について	大宮庁舎
		31	京丹後市臨時休園等に伴う保育料等の特例に関する規則の一部改正について	
		32	京丹後市立小中学校通学用ヘルメット購入費補助金交付要綱の一部改正について	

教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。 (教育委員会制度の根拠法律：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」) 教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の6つがあります。

(2)教育委員会委員の主な活動

ア 総合教育会議

開催日	会議名	会議内容等	会 場
令和2年10月12日	第1回総合教育会議	(1) 京丹後市のいじめの現状について (2) 令和3年度当初予算編成における検討事項について (3) 教育大綱について (4) その他	峰山庁舎

イ 管内視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場 所
令和2年5月1日	第1回管内視察研修	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場 (リニューアル工事の現場視察)	峰山町
令和2年6月1日	第2回管内視察研修	京丹後市立網野こども園 (園長懇談、現場視察)	網野町
令和2年6月19日	第3回管内視察研修	京都府立清新高等学校 (学校長との懇談、施設見学、授業参観)	弥栄町
令和2年8月3日	第4回管内視察研修	京丹後市峰山放課後児童クラブ (運営状況懇談、施設見学、参観)	峰山町
令和2年9月1日	第5回管内視察研修	京丹後市立高龍小学校 (学校長との懇談、ICT機器を活用した授業参観)	久美浜町
令和2年10月1日	第6回管内視察研修	京丹後市立峰山中学校 (学校長との懇談、授業参観)	峰山町
令和2年11月2日	第7回管内視察研修	旧海部小学校 (学校跡施設の活用)	久美浜町



網野こども園での懇談



峰山中学校での授業参観

ウ 管外視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場 所
—	—	—	—

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、令和２年度の管外視察研修は中止

エ 教育委員協議会

開催日	会議名	協議内容等	会 場
令和2年9月23日	第1回教育委員協議会	京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）の支援について	大宮庁舎
令和2年11月2日	第2回教育委員協議会	定住促進・負担軽減型の奨学金制度について	大宮庁舎
令和2年11月16日	第3回教育委員協議会	京丹後市学校適正配置基本計画素案について	大宮庁舎
令和3年1月4日	第1回教育委員協議会	京丹後市学校施設の長寿命化計画（案）について	大宮庁舎

オ その他の活動

月 日		件 名	場 所
4月	2. 4. 4	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
	2. 4. 6	市内こども園入園・進級式	市内各認定こども園
	2. 4. 7	市内小学校入学式	市内各小学校
	2. 4. 8	市内中学校入学式	市内各中学校
7月	2. 7. 8	教育委員任命通知書交付式（田村 浩章委員）	京丹後市役所
	2. 7. 22	第２回丹後地区教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
	2. 7. 29	第３回丹後地区教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
8月	2. 8. 7	第４回丹後地区教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
10月	2. 10. 3	京丹後市峰山途中ヶ丘公園「京丹後はごろも陸上競技場」リニューアル完成式典	京丹後市峰山途中ヶ丘公園
	2. 10. 17	京丹後市小学校駅伝競走大会	丹後王国「食のみやこ」
	2. 10. 30	海のみえる図書館 ” 丹後図書室” 移転オープニングセレモニー	丹後図書室
11月	2. 11. 1	令和２年京丹後市成人式	京都府丹後文化会館
	2. 11. 12	令和２年度京丹後市教育フォーラム 研究主題『主体的に学ぶ力を伸ばすための、ＩＣＴを活用した授業づくり』 ～電子黒板やタブレットを活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～	京丹後市立久美浜中学校
	2. 11. 16	丹後地方教育委員会連合会教育委員等研修会 演題『ＧＩＧＡスクールの推進について』 講師 京都府教育庁 指導部長 山口 隆範氏	宮津市福祉・教育総合プラザ

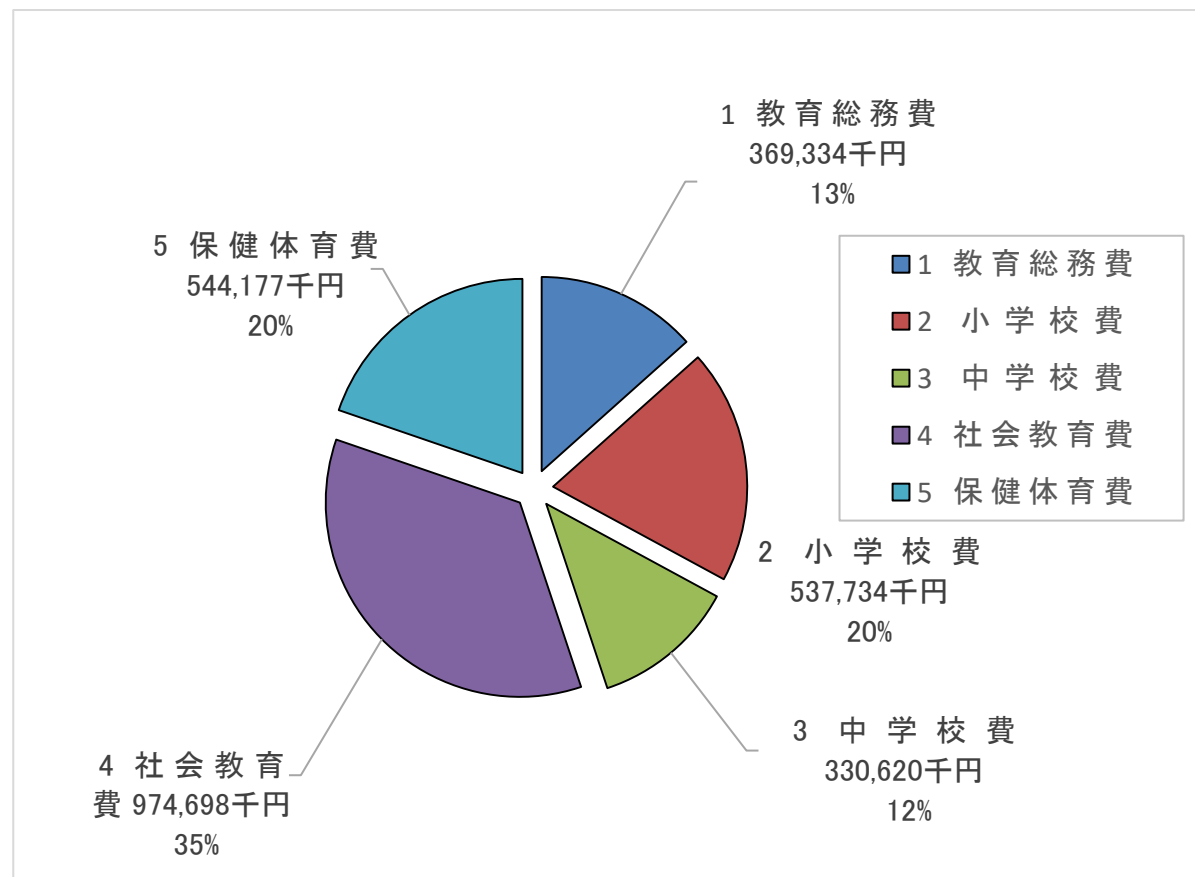
月 日		件 名	場 所
12月	2. 12. 15	令和２年度いじめ防止講演会 テーマ『子どものいじめに大人としてどうかかわるか』	アグリセンター大宮
	2. 12. 23	令和２年度市町村教育委員会オンライン協議会（ＺＯＯＭ開催） 分科会テーマ「第１分科会：教育の情報化について」 「第２分科会：いじめ・不登校支援について」 「第３分科会：地域と学校の連携協働について」	大宮庁舎
3月	3. 3. 12	京丹後市立中学校卒業式（規模縮小）	市内各中学校
	3. 3. 21	令和３年京丹後市成人式	京都府丹後文化会館
	3. 3. 23	京丹後市立小学校卒業式（規模縮小）	市内各小学校
	3. 3. 24	京丹後市立認定こども園卒園式（規模縮小）	市立各認定こども園
	3. 3. 27	京丹後市立保育所修了式（規模縮小）	市立各保育所

4 教育費予算の概要

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較
一 般 会 計 総 額	32,319,000	33,810,000	△ 1,491,000
教 育 費	2,756,563	2,372,450	384,113
(教育費の占める割合)	8.5%	7.0%	—
1 教育総務費	369,334	416,176	△ 46,842
2 小 学 校 費	537,734	657,399	△ 119,665
3 中 学 校 費	330,620	301,721	28,899
4 社会教育費	974,698	514,350	460,348
5 保 健 体 育 費	544,177	482,804	61,373

民 生 費			
1 児 童 福 祉 費	3,640,432	3,503,221	137,211
(1) 児童福祉総務費	114,466	99,405	15,061
(3) 保 育 事 業 費	2,621,171	2,381,678	239,493

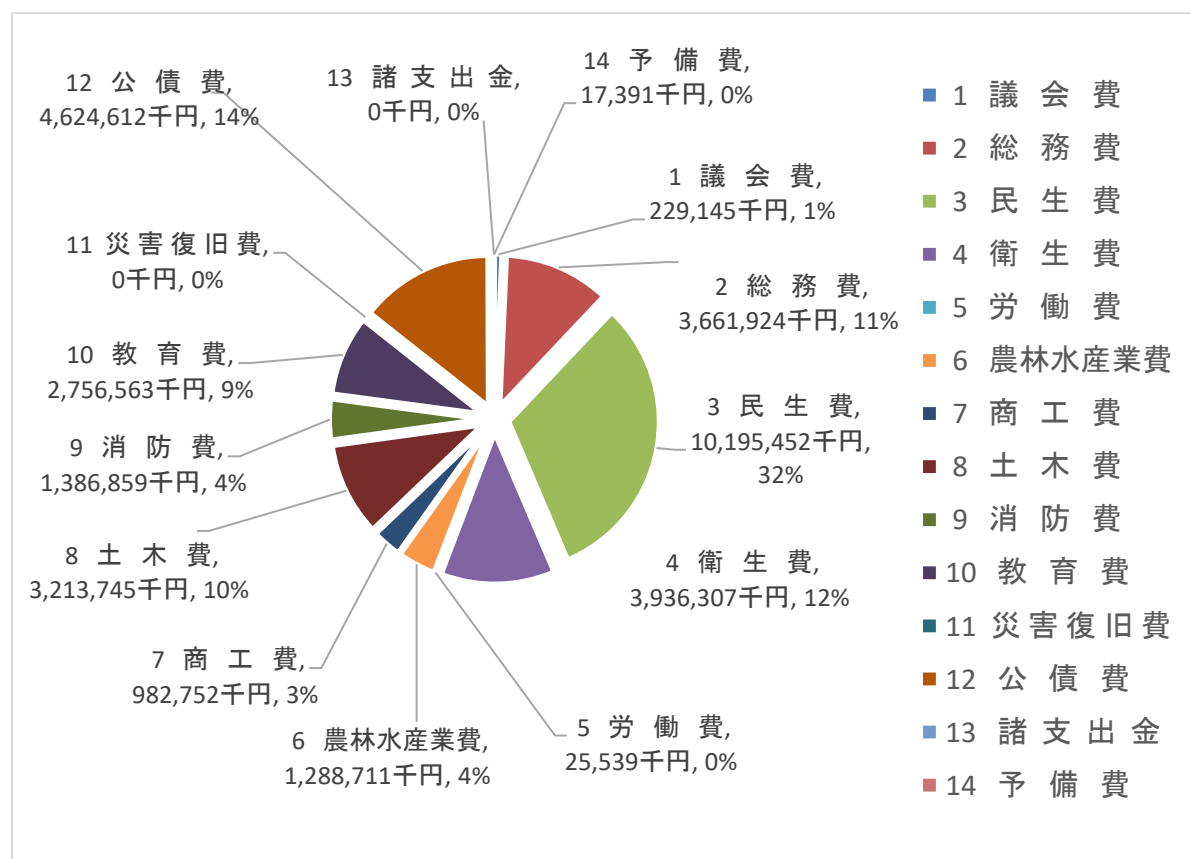


※教育費のみをグラフにしています。

一般会計歳出予算の目的別内訳

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較
1 議 会 費	229,145	240,559	△ 11,414
2 総 務 費	3,661,924	3,822,466	△ 160,542
3 民 生 費	10,195,452	9,820,837	374,615
4 衛 生 費	3,936,307	5,001,424	△ 1,065,117
5 労 働 費	25,539	30,866	△ 5,327
6 農林水産業費	1,288,711	1,619,370	△ 330,659
7 商 工 費	982,752	897,591	85,161
8 土 木 費	3,213,745	2,721,455	492,290
9 消 防 費	1,386,859	1,542,421	△ 155,562
10 教 育 費	2,756,563	2,372,450	384,113
11 災害復旧費	0	1,016,142	△ 1,016,142
12 公 債 費	4,624,612	4,707,418	△ 82,806
13 諸 支 出 金	0	0	0
14 予 備 費	17,391	17,001	390
合 計	32,319,000	33,810,000	△ 1,491,000



5 京丹後市教育振興計画(平成27年度～令和6年度) 進捗管理表

【重点目標1】 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和2年度成果と今後の課題
1. 就学前教育の環境整備 2. 保育所・認定こども園及び 小学校の連携強化	病後児保育の実施事業所数	0園 (平成25年度)	1園	1園	平成27年度の開設から6年目を迎え、徐々に利用が 増加した。課題としては、特に子育て世代に、この制 度の存在を伝える広報活動の推進がある。
	子育て支援センター数	7か所 (平成25年度)	8か所	8か所	市内8ヵ所で開設しており、保健師、助産師など専 門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間 の友達づくり、情報共有など居場所を提供することが できた。スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス 編成により、利用の曜日を決めるという調整をせざる を得ない点が課題となっていることから、網野地域子 育て支援センターを旧保育所へ移転し、市内他地域か らの受け入れも行っている。
	一時預かり実施事業所数	6か所 (平成25年度)	9か所	10か所	平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所 を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時 預かりを開始して、サービスの向上を図ることができ た。
	保育所・こども園職員の全体研修 数	3回 (平成25年度)	5回	3回	計画どおり全体研修を実施することができた。職員 の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題である ため、これ以外にも機会を捉えて研修を実施してい く必要がある。
	保育所・こども園待機児童数ゼロ の継続	—	0人	0人	乳児保育の需要が高まる中、教育・保育従事者の確保 が課題となっているが、待機児童を出すことなく、ゼ ロの継続をすることができた。 市内の人口構造の変化に伴い、地域によって利用希望 が集中するため、職員の確保と合わせ適切に利用調整 等を行う必要がある。
	民営化保育所設置数	—	6か所	4か所	多様な保育の提供を行うことができることから、民営 化の推進を行っているが、民間事業者についても職員 確保が課題となっており、計画的に移行できていな い。 今後も情勢等を見極めながら民営化の推進を行いた い。

重点目標2 確かな学力・生き抜く力を育みます

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和2年度成果と今後の課題
1. 小中一貫教育の推進 2. 学校園、家庭、地域の協働 による教育力の向上 3. 確かな学力の育成 4. 社会を生き抜く力の育成	学校園関係者による中学校区（学 園）ごとの検証・評価・取組み の改善のサイクルの確立	実施中学校区 0校区 （平成25年度）		6学園	各学校の関係者評価は、保幼小中一貫教育の諸計画 及び各学園の重点等を基盤に作成している。また、各 学園の学校関係者評価の必須項目に「保幼小中一貫教 育の推進」を設定することで、学園の取り組み等の検 証・評価を各校園単位でP D C Aサイクルにより進め ることができた。今後は、全ての学園に設置されてい る学校運営協議会による学園評価について、更に充実 させるための体制整備が必要である。
	学校の授業時間以外の勉強時間が 1時間以上の児童生徒の割合	小学生73.2% 中学生50.6% ※文部科学省「全国学力・ 学習状況調査」児童生徒質 問紙（平成25年度）小6・ 中3	小学生80%以 上 中学生70%以 上	小学生74.0% 中学生72.8%	【令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止 による臨時休校のため「全国学力・学習状況調査」 は未実施。2学期に入り各校で実施し、京丹後市のみ の結果集計・分析】 中学生の学習時間は年々増加傾向にある。昨年度は 2学期実施と関係し、高校入試の準備に入り始めたこ とが大きな伸びにつながっていると考え。小学校の 家庭学習時間は年々減少傾向にあり、授業と家庭学習 を結ぶ指導の改善が求められる。課題の個別最適化に についても考えていく必要がある。
	一貫性・系統性のある指導による 確かな学力の定着	小中学校各教科の全国平均 正答率 ※毎年の文部科学省「全国 学力・学習状況調査」	市平均の全教科 全国平均以 上	※本市のみの 結果集計・分 析のため比較 対象なし	【令和2年度 京丹後市のみの結果集計・分析】 小中学校ともに、記述式問題での無答率が目立っ た。新学習指導要領の下での指導が始まり、求められ る資質・能力の向上を目指す授業改善に取り組めてい るかどうかの見直しが必要である。質問紙に学習活動 に係る新たな項目が加わった。授業改善の一助と捉え 取り組むことが大切である。また、課題に焦点化した 学力向上の取り組みを各学園で推進していく必要がある。
	将来の夢や目標を持っている生徒 の割合	中学生70.0% ※文部科学省「全国学力・ 学習状況調査」生徒質問紙 （平成25年度）中3	中学生90%以 上	中学生68.9%	【令和2年度 京丹後市のみの結果集計・分析】 年々減少の傾向にあり、意図的な働きかけが必要で ある。「キャリアパスポート」を活用したキャリアカ ウンセリングを通して、対話的に関わり個の成長を促 す系統的な指導を進める等、保幼小中一貫教育による キャリア教育のより一層の推進・充実を図る必要があ る。

重点目標3 子どもを健やかに育む教育環境を充実します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和2年度成果と今後の課題
1. 子どもの安全・安心の確保 2. 学校施設環境等の整備充実 3. 個に応じた支援体制の充実 4. ボランティアによる学習支援の推進 5. 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進	市立小学校の耐震化	88.5% (平成25年度)		100%	学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。
	市立中学校の耐震化	93.5% (平成25年度)		100%	学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は平成26年度をもって完了した。
	非構造部材の耐震対策	0% (平成26年度)		100%	国が指導する大規模空間（体育館やランチルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等）の非構造部材耐震対策は、平成28年度をもって完了した。
	児童生徒用トイレの洋式化整備校数	—	小学校 17校 中学校 6校	小学校 12校 中学校 1校	小学校を優先して学校施設の児童生徒用、身障者用、体育館等のトイレ洋式化整備を計画的に実施するため、設計業務は前年度に行い、翌年度に整備工事を実施することとし、令和2年度は、網野南小・久美浜小・かぶと山小の3校を整備した。令和6年度末を目標に今後も洋式化が遅れているトイレ整備を進める必要がある。
	学校支援ボランティア登録者数	427人 (平成25年度)	600人	542人	ボランティア登録者数は名簿の整理を行ったことから減少した。 高齢化が進んでいるため、学校のニーズに応じたボランティアの確保が課題である。
	時間外勤務月45時間超（年平均）の教職員数	—	0人	小学校 121人 (48.2%) 中学校 114人 (76.5%) 合計 235人 (58.8%)	平成30年度以降、達成状況は年々向上している。市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針（R2.4改訂）に段階的目標を設定し、R5年度に45時間以内100%達成を目指し取り組みを推進する。

重点目標4 豊かな人間性・社会性を育みます

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和2年度成果と今後の課題
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成 2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実 3. 家庭・地域の教育力の向上 4. 文化芸術を通じた豊かな感性、情緒の育成	不登校児童生徒の発生率	小学校 5人/0.16% 中学校 47人/2.49% (平成25年度)	減少させる	小学校 0.58% 中学校 3.71%	不登校児童生徒の発生率は、小学校で、前年度比0.26%の増加しており、保幼小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取り組みや確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、不登校の未然防止を重点課題として取り組む必要がある。
	いじめの認知件数/認知率	小学校386件/12.7% 中学校189件/10.2% (平成25年度)	減少させる	小学校350件 14.5% 中学校28件 2.1%	いじめの認知率は、小学生で2.5%、中学校で0.7%減少している。引き続きいじめを積極的に認知し、各校で設置しているいじめ防止等組織において些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、丁寧な指導を継続していく等いじめ防止対策の一層の充実のための取り組みを推進する。
	認知されたいじめの年度内解消率	小学校357件/92.5% 中学校181件/95.8% (平成25年度)	100%	小学校92.6% 中学校96.0% (いじめの解消要件が定義されたため、令和2年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	令和2年度第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果の未解消事象については、調査後解消するまで丁寧な見守りと指導を継続している。今後も各校のいじめ防止基本方針に基づいた実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し、早期解消のための取り組みに努める。
	いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合	小学生97.0% 中学生90.9% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校95.3% 中学校98.1%	いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校でやや減少しているものの、小中学校ともに高い水準を維持している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取り組みの充実を図る必要がある。
	学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合	小学生93.8% 中学生90.8% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校88.8% 中学校96.6%	学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小中学校ともにやや減少している。引き続き各校園の丁寧な指導及び保幼小中一貫教育による一貫性のある指導等により、就学前からの規範意識の醸成等による系統的な指導を進めていく必要がある。
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合	小学生94.4% 中学生95.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学生93.0% 中学生98.0% (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	【令和2年度 京丹後市のみの結果集計・分析】 小学生はやや減少したが、中学生はほぼ横ばいである。小中学生ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを理解して行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和2年度成果と今後の課題
	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小学生94.0% 中学生93.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校94.7% 中学校97.5%	【令和2年度 京丹後市のみの結果集計・分析】 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともにほぼ横ばいであるが高い水準で推移している。教育活動全体を通した丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。
	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	—	増加させる	小学生68.0% 中学生71.8%	【令和2年度 京丹後市のみの結果集計・分析】 平成30年度の結果と比較すると、結果が低い傾向にある。「将来の夢や目標をもっている」項目と関りが強い。日々の関りの中で、児童生徒のよさを見つけ、ほめていることが児童生徒に伝わるようにほめるなど、意図的な働きかけにより、自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。
	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	—	維持する	小学校87.4% 中学校86.2%	【令和2年度 京丹後市のみの結果集計・分析】 平成30年度の結果と比較すると、結果が低い傾向にある。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域における行事が中止となっている。「丹後学」を通して、地域への理解と愛着を深めていく必要がある。
	放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	—	0人	0人	利用希望者の多いところでは、空き教室等を活用することで受入体制を確保することができた。また、保護者の就労支援の視点から、市内で1か所であるが、日曜、祝日の受入を実施した。利用者が増加している状況の中、保育室の確保や指導員の確保に課題がある。

重点目標5 生涯にわたる豊かな学びを支援します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和2年度成果と今後の課題
1. 生涯学習の体制づくり	青少年の体験活動事業数	42事業	60事業	24事業	例年は地域公民館等の事業のほか、京都府や府内大学などの関係機関と連携し事業を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の関係で多くの事業が中止となった。今後も社会教育団体や学校、地域と連携・協力をしながら学習機会を提供する。
2. 人権教育の推進					新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の発令により、多くの講座を中止としたが、感染症対策を講じて可能な限り実施し、市民の自発的な学習を支援し継続的な学習の機会を提供することができた。今後は地域や民間団体などによる自主的な活動を促進させ、地域公民館による取り組みは減少させていく。
3. 社会教育施設等の整備充実					各町の公民館連絡協議会や地域公民館を中心に地域の現状把握や課題共有に努め講座を実施している。今後も時代や社会の要請に応じた必要な学習機会を提供していく必要がある。 また、地域の社会教育や地域活動を推進する拠点である地区公民館の中には担い手不足等の課題を抱えている公民館もある。地区や公民館と行政が、一緒になって新しい地域コミュニティについて考える必要がある。
					新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の発令により、多くの講座を中止とした。高齢者を対象とした講座であることから、参加をためらう方もおられたが、感染症対策を講じながら可能な限り講座を実施した。コロナ禍で外出が制限される中、高齢者の生きがいづくりのため、どのような講座を提供していくべきか検討していく必要がある。
					インターネット社会における人権の尊重、新型コロナウイルス感染症の患者や家族への配慮など、身近な問題も日常生活の習慣として身につけ実践することができるよう工夫改善に努める。 R2年度は感染防止として開催を中止した講演会等も多かったが、公民館報など印刷物を利用して人権学習を行う事業ができた。
					新型コロナウイルス感染症対策の影響で臨時休館となった期間があり利用が減った。また今まで行ってきた行事も予定通り行うことができなかった。しかし、臨時休館中でも予約本に限り貸出をしたり、会場への人数制限を行っての行事開催など、対策を講じながら可能なサービスを継続した。 対策を講じながら、今後どのようなサービス、読書推進を図っていけるのか、検討し対応していく必要がある。
	図書の年間貸出冊数（市民1人当たり）	5.2冊 (平成25年度)	7.0冊	4.6冊	

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和２年度成果と今後の課題
	地域公民館施設の利用回数	4,308回 (令和元年度) ※改定時追加指標	7,000回	2,813回	市民に学習や交流の場所を提供するため、8月1日から「公共施設の市民等無料開放」を実施したが、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言や蔓延防止措置等により、休館としたり収容人数を制限する等したため、大きく利用回数が減少した。 今後は、感染防止対策を講じながら、社会教育活動や生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として管理運営を行い、地域の身近な課題、生活課題等に即した学習機会の提供に努める。 丹後地域公民館は、令和2年度に耐震改修工事を実施した。他の施設についても老朽化に伴う計画的な維持管理が課題である。 ※平成30年12月丹後地域公民館耐震強度不足のため貸館休止、平成30年12月から令和元年10月までは丹後庁舎を、10月からは丹後庁舎と旧豊栄小学校を代替施設として使用した。 ※平成30年度～令和２年度の数値は、代替施設の数値を含めた数値。

重点目標 6 歴史・文化芸術を活用し、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	R2年度末	令和２年度成果と今後の課題
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実 2. 地域の文化財の総合的な保存と活用 3. 資料館施設等の整備充実 4. 文化芸術活動の推進	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	1,468人 (5事業 17講座) (平成25年度)	1,700人	530人	新型コロナウイルス感染症の関係で、京丹後史博士育成講座は休止し、単発の講座として大河ドラマ麒麟が来るの時代の山城を歩くを開催した(2回、36人)。京丹後市文化財セミナーは1回開催予定であったものが次年度へ延期となった。このほか、外部からの出前講座等の対応を行った(23回、494名)。 今後、外的要因に打ち勝つような魅力ある講座や企画を打ち出し、目標値に近づけるようにしたい。
	資料館、文化館入館者数	13,808人 (3施設) (平成25年度)	15,000人	7,510人	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、丹後古代の里資料館・郷土資料館は4/18～5/29、鳴き砂文化館は4/9～5/31を臨時休館とした。また丹後古代の里資料館は、空調設備等施設改修工事のため10/12～3/31を臨時休館とした。臨時休館および学校関係の利用が激減したため、前年度実績と比べ入館者が半減した。 各館ともに、外的要因に打ち勝つような魅力ある企画を打ち出し、今後の集客増につなげていきたい。
	史跡整備	史跡整備 6 遺跡 (平成25年度) ※京丹後市文化財マスタープラン	8遺跡	7遺跡	網野銚子山古墳整備事業は、京丹後市史跡整備検討委員会の指導を得ながら平成29年度には環境整備基本設計を実施し、平成30年度より整備工事を進めている。 令和2年度は、検討委員会の指導を得ながら墳丘樹木の整理伐採、前方部南西側の階段整備、周濠整備を行った。令和3年度以降も引き続き、環境整備事業を進め、令和6年度には完成予定である。
	京丹後史博士の認定者数	—	120人	66人	令和2年度は講座の開催を見合わせたため、認定者数に変化がなかった。
	文化協会加盟サークル数	170団体	200団体	151団体	各加盟団体が実施の教室や大会、市協会が実施のサークル体験会、小さな発表会を通じて、市民へ芸術鑑賞機会を提供することができた。今後も、市民が文化力を高め、加盟サークル数増加にもつながらよう協会を支援していく。
	文化芸術事業の開催回数	—	100回	36回	各地区文化祭、各町文化祭、文化協会小さな発表会、サークル体験会、アーティスト・イン・レジデンス事業を実施。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の関係で多くの事業が中止となったため、開催回数が大きく減少となった。
	京都府丹後文化会館利用者数	—	42,000人	8,446人	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言、蔓延防止措置等により休館したり収容人数を制限したため利用者数が大きく減少した。 利用者増加のため、近隣市町と連携し、丹後地域全体での利用拡大計画を立てる必要がある。

重点目標7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	実績値 (R2年度末)	令和2年度成果と今後の課題
1.健康な体づくり 2.食育の推進 3.地域スポーツ活動の推進 4.競技力の向上 5.社会体育施設等の整備充実 6.スポーツ観光のまちづくり	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小学生97.8% 中学生91.1% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）	小学生100% 中学生95%以上	小学生95.1% 中学生95.7%	【令和2年度 京丹後市のみの結果集計・分析】 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小学生でやや減少し中学生は増加した。各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきているが、今後も保護者との連携を更に密にし、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取り組みを進めていく必要がある。
	平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合	小学生88.4% 中学生77.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）	小学生100% 中学生85%以上	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし
	平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合	小学生91.6% 中学生45.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）	小学生100% 中学生50%以上	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし
	小学生（5年生）の体力テスト全国平均以上	8種目中7種目	全種目	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、府として調査を実施しないことになったためデータなし	令和2年度については、調査未実施のためデータがない。令和元年度については、前年度に比べて全国平均を上回る種目が増加した。しかし、握力、上体起こし、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回った。引き続き、課題を踏まえ、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取り組み等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。
	中学生（2年生）の体力テスト全国平均以上	8種目中4種目	全種目	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、府として調査を実施しないことになったためデータなし	令和2年度について、調査未実施のためデータがない。令和元年度については、前年度に比べて全国平均を上回る種目が増加した。しかし、握力、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回った。引き続き、課題を踏まえ、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取り組み等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	21.6% 市民アンケート調査結果（平成24年度）	65.0% 国の目標	25.8% (1,534人/5,941人)	新型コロナウイルス感染症の影響によって、健康増進と体力の向上を図るためスポーツ推進委員が中心となって開催している、地域でのニュースポーツ教室やノルディックウォーキング教室が例年のような回数が開催ができなかったが1回あたりの参加者が増え年間で約1,000人の参加者があった。また、外出自粛が促される中、家でもできる運動を提供するためケーブルテレビと協力を行い、ストレッチ体操を放送した。今後は、新たな参加者層の獲得のため、地域や団体と協力をして活動していくことが必要である。
	京都府民総合体育大会入賞競技数	6競技 京都府民総合体育大会結果（平成25年度）	10競技	未開催	新型コロナウィルス感染症拡大の影響により令和2年度は京都府民総合体育大会は交流大会となり、順位・入賞については無し。近年は入賞競技数も増加傾向にあり、今後は、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西を契機とし、競技力の向上を目指す。特に将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。
	公共スポーツ施設の利用回数	11,253回 公共施設利用状況調査結果（平成24年度）	14,000回	10,498回	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用制限を行ったことにより年間の利用回数が減少した。 新型コロナウイルス感染症が市民生活・地域経済に大きく影響を及ぼしている中、市民が負担なくスポーツ活動に勤しみ、市民の元気・活力・健康増進を図ることを目的として、8月から市民を対象に施設の無料開放を行った。 今後は、公共施設の見直し計画による施設の集約化や指定管理者制度の導入等、より市民のニーズに則した施設環境づくりとスポーツ機会の提供が求められる。
	スポーツイベント参加者数	—	18,600人	1,358人	新型コロナウィルス感染症拡大の影響により令和2年度は多くのイベントが中止となった。そのような状況下、スポーツ観光のまちづくりを推進するため、感染症対策を講じた上で、スポーツイベントを開催することで市内外の参加者が気軽にスポーツができる環境を提供した。 今後、各種イベントについて、新型コロナウィルス感染症対策を行い、各種意見を聞き入れ、地域と一体となり地域資源等を取り入れ、参加者が増える取り組みを行っていく必要がある。

6 主要な決算の概要

小学校施設改修事業

中学校施設改修事業

学校情報通信ネットワーク環境施設整備（繰越）

GIGAスクール情報機器等整備事業

小中一貫教育推進事業

いじめ防止啓発推進事業

児童教職員健康管理事業

生徒教職員健康管理事業

放課後児童健全育成事業

放課後児童健全育成事業（繰越）

子育て支援センター事業

峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業

峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業（繰越）

高齢者教育事業

家庭教育事業

文化芸術事業

丹後地域公民館管理運営事業

図書館管理運営事業

地域スポーツ推進事業

オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業

オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業（繰越）

遺跡整備事業

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	102,266千円	102,267千円	1千円	99.9 %	課	教育総務課
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額		
	事	03 小学校施設整備事業				105,200千円		
	細事	01 小学校施設改修事業	国補 市債	学校施設環境改善交付金（1/3） 小学校施設整備事業債（過疎対策債）		16,606千円 67,600千円		
総合計画 基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕	主な財源					
目的	老朽化している学校施設が多い中、小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。							
主要な事務・事業の概要	○小学校トイレ洋式化工事（網野南・久美浜・かぶと山）		72,125千円	○令和3年度工事にに向けた業務委託		3,794千円		
	・委託料（工事監理業務）		4,367千円	・小学校トイレ洋式化工事実施設計業務				
	・工事請負費		67,758千円	（網野北・島津）				
	○網野南小学校職員室等エアコン更新工事		8,228千円					
	・委託料（工事監理業務）		308千円					
	・工事請負費		7,920千円					
	○網野南小学校ことばの教室エアコン更新工事		2,189千円					
・委託料（工事設計・監理業務）		429千円						
・工事請負費		1,760千円						
○その他工事請負費		15,930千円						
・島津小学校高圧気中開閉器等更新改修工事		1,045千円	成果・課題	○網野南、久美浜、かぶと山各小学校のトイレ洋式化工事を行うなど、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。				
・網野南小学校特別支援教室エアコン設置工事		1,298千円		○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。				
・大宮第一小学校給食用リフト改修工事ほか23件		13,587千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	03 中学校費	25,246千円	35,249千円	10,003千円	71.6 %	課	教育総務課					
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額							
	事	03 中学校施設整備事業				26,884千円							
	細事	01 中学校施設改修事業	市債 中学校施設整備事業債（過疎対策債） 16,700千円										
総合計画 基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源										
	〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕												
目的	老朽化している学校施設が多い中、中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。												
主要な事務・事業の概要	○網野中学校下水道接続工事		16,163千円	<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>25,249千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>99.9 %</td></tr></table>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	25,249千円	実質的な予算執行率	99.9 %
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	25,249千円										
		実質的な予算執行率	99.9 %										
	・委託料（工事設計・監理業務、浄化槽最終清掃業務）		4,635千円										
	・工事請負費		11,528千円										
	○大宮中学校放送設備改修工事		3,515千円	■令和3年度への繰越事業 10,000千円 ・特別教室空調設備整備事業（工事設計業務） 令和3年6月完了									
	・委託料（工事設計・監理業務）		325千円										
	・工事請負費		3,190千円										
	○その他工事請負費		5,568千円	成果・課題 ○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○「新しい生活様式」を踏まえ、健やかに学習、生活できる環境整備を進めるため、6中学校の特別教室空調化事業に着手することができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。									
	・久美浜中学校ランチルーム等床板補修工事		605千円										
	・弥栄中学校校舎棟ガス管改修工事		602千円										
	・丹後中学校加圧給水ポンプユニット入替工事		1,122千円										
	・網野中学校給食用リフト改修工事		763千円										
	・峰山中学校高圧ケーブル取替工事		232千円										
	・大宮中学校用務員室排水管改修工事ほか6件		2,244千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				45.5 %		
	目	02 事務局費	230,618千円	506,500千円	275,882千円	(参考)当初予算額		
	事	07 学校情報化推進事業				506,500千円	課	学校教育課
	細事	02 学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業（繰越）						
総合計画 基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金（1/2）		95,495千円		
		[26 未来を拓く学校教育の充実]		学校教育施設整備事業債（合併特別債）		126,500千円		
目的	児童生徒が1人1台のタブレット型パソコンを利用できる環境を国の補助事業を活用して整備する。							
主要な 事務・事業の概要	市内小中学校に高速通信が可能な校内LANを整備するとともに、各学校と庁舎間（サーバー室）の光回線の高速化を行った。また、各学校からの通信を集約してインターネットに接続するサーバー室の機器を更新し、通信の高速化を行った。			○ネットワーク機器購入費 25,846千円				
	○事務費 26千円			・庁舎側ネットワーク機器の購入（統合型ネットワーク管理機器 5台）				
	・事務用品等消耗品 26千円							
	○高速通信ネットワーク工事費 201,787千円							
	・工事委託料 196,485千円							
	市内全小中学校（23校）の校内LAN工事							
	学校・庁舎間光回線高速化工事							
	・通信機器等設定業務委託料 5,302千円							
	庁舎側ネットワーク機器設定							
	○ソフトウェア使用料 2,959千円							
	・庁舎側制御用ソフトウェア（無線アクセスポイント管理ソフト他）							
				成果・課題	○児童生徒が1人1台のタブレット型パソコンを利用するための高速校内LAN・光通信回線及び、庁舎サーバ室の整備を行うことができた。 ○校務用パソコンなどの既存端末もトラブルなく接続することができ、学校現場の負担や混乱等も特になく、スムーズに事業を実施することができた。 ○整備した情報通信ネットワーク全体の効率的な維持管理に取り組む必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				99.9 %		
	目	02 事務局費	450,861千円	450,985千円	124千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事	07 学校情報化推進事業				0千円		
総合計画 基本計画	細事	03 GIGAスクール情報機器等整備事業	国補 国補 市債	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		288,500千円		
				公立学校情報機器整備費補助金		122,138千円		
目的	主な財源	学校教育施設整備事業債（合併特別債）			34,300千円			
目的	国のGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人1台のタブレット端末をはじめ必要な情報機器等の整備を行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止等による休校の際に、ICTの活用によりオンラインによる授業などができる環境の整備を行う。							
主要な 事業の 概要	○1人1台のタブレット端末等学校ICT機器の整備		443,832千円	○オンライン授業等の環境整備		7,029千円		
	・通信運搬費			・使用料及び賃借料				
	学校用インターネット光回線通信料		378千円	貸出タブレット端末用フィルタリングソフト使用料		416千円		
	・委託料			・備品購入費				
	通信機器等設定業務委託料		990千円	家庭用貸出Wi-Fiルータ（300台）		6,121千円		
	GIGAスクールサポーター派遣委託料（5人）		7,810千円	学校用Webカメラ（全クラス1台、計203台）		492千円		
	（期間：令和2年9月1日～令和3年3月31日）							
	・備品購入費							
	電子黒板（未導入の教室分、計52台）		36,190千円					
	電子黒板接続装置（既設電子黒板用、計151台）		2,986千円					
成果・課題	職員室ファイルサーバー（2台）		6,837千円	○児童・生徒及び教職員に1人1台のタブレット端末を整備するとともに、プリンタ・職員室ファイルサーバーを整備し、GIGAスクール構想の実現に向けた学校ICT機器整備を完了することができた。				
	児童・生徒用タブレット端末（3,832台）		324,730千円	○電子黒板未設置の教室に追加整備し、全普通教室及び特別支援教室へ電子黒板の整備を完了することができた。				
	教職員用タブレット端末（420台）		35,591千円	○コロナ休校に備えオンライン授業の実施環境を整備することができた。				
	プリンタ（50台）		28,320千円	○ICT支援員を適切に配置しながら、児童・生徒・教職員のICT機器の積極的な利活用を推進し、授業改善につなげていく必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	144千円	252千円	108千円	57.1 %		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事	11 小中一貫教育推進事業				252千円		
	細事	01 小中一貫教育推進事業						
総合計画 基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
	〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕							
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究並びに教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて確かな学力、豊かな心を育成する。							
主要な 事務・事業の 概要	○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償）		46千円	○授業実践力向上研修会（講師謝金、消耗品費）				93千円
	・協議会委員 13人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等）			開催日： 令和2年10月14日（水）				
	・協議会の開催 2回（12月・3月）			場 所： 大宮第一小学校				
	・調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理			講 師： 細水 保宏 氏				
				（学校法人明星学苑 教育支援室長・明星大学客員教授、明星小学校長）				
	○学校教育連携専門部会			参加者： 148人				
	・専門部会 学校運営部員 6人							
	・開催回数 学校運営部会 2回							
	○保幼小中一貫教育指導の重点リーフレット・ポスター作成配布							
	○教育フォーラムの開催（消耗品費）		5千円	成果・課題				○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。 ○引き続き、保幼小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。
	開催日： 令和2年11月12日（木）							
	場 所： 久美浜中学校							
	参加者： 69人							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	116千円	189千円	73千円	61.3 %		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事	13 いじめ防止推進事業				189千円		
	細事	01 いじめ防止啓発推進事業						
総合計画 基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
	〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕							
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。							
主要な 事務・事業の概要	○いじめ防止講演会（講師謝金、消耗品費） 開催日：令和2年12月15日（火） 講 師：鳴門教育大学教職大学院 阿形 恒秀 教授 会 場：アグリセンター大宮 参加者：57人		74千円	○インターネットモラル研修会 開催日：令和3年2月16日（火） 会 場：オンライン研修（文部科学省主催全国研修） 講 師：兵庫教育大学 竹内 和雄 教授 参加者：69人 ※各小中学校の教職員がオンラインで研修を受講した。				
	○いじめ防止啓発グッズ作成（印刷製本費） いじめ防止啓発PRカードシール 小学新1年生用 450枚 街頭啓発 実施日：令和2年11月20日（金） 場 所：フレッシュバザール峰山店		14千円					
	○いじめ相談専用電話設置（通信運搬費） フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：1件		28千円	成果・課題	○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を促すことができた。 ○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。 ○相談しやすい環境づくりを推進するため、令和3年度から開始する「LINE」を利用したいじめ相談窓口を周知していく必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費				73.5 %		
	目	01 学校管理費	40,394千円	54,946千円	14,552千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事	04 児童教職員健康管理事業				8,938千円		
	細事	01 児童教職員健康管理事業						
総合計画基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕	主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		15,000千円	
				国補	学校保健特別対策事業費補助金（1/2）		16,060千円	
				府補	7ヵ素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）		269千円	
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。							
主要な事務・事業の概要	○需用費（保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料） （うち感染症対策に要した消耗品等 8,183千円）		10,190千円	○使用料及び賃借料		884千円		
	○委託料		6,774千円	・自動車借上料（検診時医師送迎用ほか）		128千円		
	・バス運転委託料 （夏季休業期間短縮に伴うスクールバスの臨時運行運転委託料） 期間：令和2年7月21日～8月26日の内、学校授業日の15日間 対象校数：11校 対象地区：24地区		1,429千円	・機械器具借上料（AEDリース料・17校分）		756千円		
	・児童検診委託料		3,879千円	○備品購入費 （うち感染症対策に要した備品分 22,425千円） 空気清浄機、パーティションスタンド ほか		22,546千円		
	心臓検診委託料 1次 779人（1・4年、経過観察者） 2次 88人							
	眼科検診委託料 2,399人							
	耳鼻科検診委託料 2,406人							
	尿検査委託料（春）1次 2,410人 2次 89人							
	尿検査委託料（秋）1次 2,407人 2次 70人							
	腎臓病検診委託料 17人（校医抽出者） 結核検診 4人							
・教職員健康診断委託料		1,240千円						
・教職員結核検診委託料		226千円						
					参考		繰越明許費を除いた最終予算額 40,896千円 実質的な予算執行率 98.8%	
					■令和3年度への繰越事業		14,050千円	
					小学校新型コロナウイルス感染症対策事業		令和4年3月完了予定	
					成果・課題	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどし、児童及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。 ○令和2年度より、市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	17,194千円	22,934千円	5,740千円	74.9 %	課	学校教育課
	目	01 学校管理費				(参考)当初予算額		
	事	04 生徒教職員健康管理事業				6,042千円		
	細事	01 生徒教職員健康管理事業						
総合計画基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕	主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	6,000千円		
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。	国補		学校保健特別対策事業費補助金（1/2）	5,826千円			
主要な事務・事業の概要	○需用費（保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料） （うち感染症対策に要した消耗品等 2,788千円）		3,624千円	○使用料及び賃借料		505千円		
	○委託料		4,200千円	・自動車借上料（検診時医師送迎用）		17千円		
	・生徒検診委託料		3,246千円	・機械器具借上料（AEDリース料・6校分）		488千円		
	心臓検診委託料 1次 459人（1年、経過観察者）			○備品購入費		8,865千円		
	2次 104人			（うち感染症対策に要した備品分 8,865千円）				
	眼科検診委託料 1,312人			非接触体温計、サーキュレーター ほか				
	耳鼻科検診委託料 1,311人			参考		繰越明許費を除いた最終予算額 17,284千円		
	尿検査委託料（春）1次 1,337人 2次 145人			実質的な予算執行率 99.5%				
	尿検査委託料（秋）1次 1,330人 2次 89人			■令和3年度への繰越事業		5,650千円		
	血液検査委託料 447人（2年、経過観察者）			中学校新型コロナウイルス感染症対策事業		令和4年3月完了予定		
腎臓病検診委託料 10人（校医抽出者）			成果・課題					
・教職員健康診断委託料		804千円		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。				
・教職員結核検診委託料		150千円						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	283,042千円	284,543千円	1,501千円	99.4 %	課	子ども未来課
	目	03 保育事業費				(参考)当初予算額		
	事	02 放課後児童健全育成事業				317,477千円		
細事	01 放課後児童健全育成事業		使用料	公有財産使用料、放課後児童健全育成事業利用料				28,421千円
総合計画 基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				19,958千円
	[25 子育て支援の総合的な推進]		府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				19,958千円
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。	府補	きょうと地域連携交付金（放課後児童健全育成事業委託料）				1,500千円	
		諸収入	国・府道路改良工事に係る府移転補償金				60,681千円	
		市債	放課後児童健全育成施設整備事業債（合併特別債）				3,800千円	
		市債	児童福祉施設送迎バス整備事業債（合併特別債）				11,100千円	
主要な事務・事業の概要	○開設状況		○放課後児童健全育成事業委託料（10クラブ）	187,679千円				
	年間開設日数：293日		（うち日曜日・祝日開設分	3,354千円）				
	（うち新型コロナウイルス感染症対策対応分：19日）		（うち新型コロナウイルス感染症対策対応分	10,256千円）				
	開設時間：授業終了後～午後6時30分		○工事請負費	65,233千円				
	（長期休業期及び土曜日、日曜日・祝日は午前7時30分～午後6時30分）		・網野北エアコン移設工事・網野南エアコン更新改修工事	1,636千円				
	年間平均児童数：450人（10か所、12支援単位）		・丹後地域公民館（丹後放課後児童クラブ）改修工事	3,992千円				
	峰山52人・長岡18人・いさなご36人・大宮56人		・旧峰山放課後児童クラブ施設解体撤去等工事	59,605千円				
	口大野①45人・口大野②45人・網野南50人・網野北49人							
	丹後14人・弥栄24人・久美浜①49人・久美浜②12人		○送迎車両整備経費（峰山、網野北、弥栄 各1台）	11,765千円				
	○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等）	5,626千円	○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか）	1,054千円				
○委託料（消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等）	10,636千円	成果・課題	○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。					
○工事監理委託料	1,049千円		○新型コロナウイルス感染症対策として4月～5月に小学校が臨時休校となった期間も開設し、保護者の就労を支援することができた。					
・丹後地域公民館（丹後放課後児童クラブ）改修工事	94千円		○11月から峰山放課後児童クラブで日曜日・祝日の開設を行い、保護者のニーズに応じた就労支援をすることができた。					
・旧峰山放課後児童クラブ施設解体撤去等工事	955千円	○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室の更なる活用など、施設拡充を検討する必要がある。						

予 算 科 目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	2,505千円	3,000千円	495千円	83.5 %	課	子ども未来課
	目	03 保育事業費				(参考)当初予算額		
	事	02 放課後児童健全育成事業				3,000千円		
	細事	01 放課後児童健全育成事業（繰越）						
総合計画 基本計画		25 子育て支援の総合的な推進 [25 子育て支援の総合的な推進]	主な財源					
目的	（仮称）大宮峰山インターチェンジアクセス道路の整備に伴い、計画区域にある峰山放課後児童クラブ園舎及び付属施設を解体撤去する。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○旧峰山放課後児童クラブ施設解体撤去等工事実施設計業務		2,505千円					
				成果・課題	解体等撤去工事を予定どおり実施することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 課	教育委員会事務局 子ども未来課	
	項	02 児童福祉費	19,604千円	20,751千円	1,147千円	94.4 %			
	目	03 保育事業費				(参考)当初予算額			
	事	03 子育て支援以外-事業				20,449千円			
総事	01 子育て支援以外-事業	主な財源 国補 府補 府補 諸収入	子ども・子育て支援交付金（1/3）				6,534千円		
総合計画 基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		子ども・子育て支援交付金（1/3）				6,534千円		
	[25 子育て支援の総合的な推進]		新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（10/10）				326千円		
目的	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。		網野地域子育て支援以外-光熱水費等負担金				9千円		
主要な 事務・事業の概要	保育所及びこども園の入所、入園前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置し、地域に密着した子育て支援を推進した。 11月6日に開催した子育て交流会は、保護者81人、子ども92人、計173人の参加があった。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、4月20日から5月20日まで施設を閉鎖した。		○会計年度任用職員任用経費（18人分） ○通信運搬費（電話代） ○光熱水費 ○網野地域子育て支援センター浄化槽維持管理業務委託 ○支援センター運営委託料（こうりゅう虹保育園） ○その他経費（消耗品費等）						14,773千円 238千円 744千円 233千円 2,330千円 1,286千円
	○支援センター利用人数		○なかよし広場 （毎月1回、峰山総合福祉センターで実施）						
	支援センター	児童	保護者						
	峰山	1,333人	1,125人						
	大宮北	1,377人	1,270人						
	大宮南	953人	796人						
	網野	2,263人	2,005人						
	丹後	548人	444人						
	弥栄	1,139人	1,092人						
	かぶと山	922人	797人						
こうりゅう	902人	871人							
合計	9,437人	8,400人							
成果・課題			保育所及びこども園の入所、入園前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。						

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 課	教育委員会事務局 生涯学習課
	項	04 都市計画費	317,524千円	317,640千円	116千円	99.9 %		
	目	03 公園費				(参考)当初予算額		
	事	01 公園等指定管理運営事業				410,174千円		
	細事	02 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業				市債 都市公園整備事業債（過疎対策債） 202,300千円 諸収入 地域スポーツ施設整備助成金 80,000千円 諸収入 地方公共団体スポーツ活動助成金 4,800千円		
総合計画 基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〔 27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〕	主な財源					
目的	京丹後はごろも陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	○第3種公認陸上競技場改修整備 281,047千円 （令和2年10月1日リニューアルオープン） ・陸上競技場改修工事 ※継続費 204,637千円 ・陸上競技場電気設備工事 14,740千円 ・陸上競技備品購入（競技備品・写真判定用ユニット等） 60,597千円 ・役務費 945千円 （競技備品購入に係る運搬手数料、3種検定手数料） ・旅費、使用料及び賃借料 128千円 （陸上競技場の現地検定に係る検定員3人分の旅費、宿泊費）		○リニューアル完成式典 413千円 ・委託費（イベント管理運営委託料） ＜開催概要＞ ・日 程：令和2年10月3日（土） ・場 所：京丹後市峰山途中ヶ丘公園 ・参加者：約74人 ○その他 673千円 ・需用費 516千円 （陸上競技場リーフレット作成・正面入口看板改修等） ・委託費（陸上競技場案内看板作成委託料） 157千円					
	○附属施設等整備 35,391千円 ・陸上競技場フェンス設置工事 19,891千円 ・公園周回道路修繕工事 6,170千円 ・備品格納用倉庫前アスファルト舗装工事等 1,328千円 ・競技備品格納用倉庫購入（1棟） 2,832千円 ・競技場用乗用芝刈り機購入（1台） 5,170千円		成果・課題	○京丹後はごろも陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備し、10月より供用開始することができた。 ○今後は、適切な管理運営を行うとともに、市民利用や大会誘致等、利用促進を積極的に推進する必要がある。				

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 都市計画費				100.0 %		
	目	03 公園費	86,364千円	86,364千円	0千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事	01 公園等指定管理運営事業				86,364千円		
	細事	02 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業（緑越）						
総合計画基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実 (27 多様な学びを支援する社会教育の充実)	市債 都市公園整備事業債（過疎対策債） 86,300千円					
目的		京丹後はごろも陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。	主な財源					
主要な事務・事業の概要	<第3種公認陸上競技場改修整備> ○委託料 ・陸上競技場改修工事現場技術業務		1,459千円					
	○工事請負費 ・陸上競技場改修工事		84,905千円					
				成果・課題	○京丹後はごろも陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備し、10月より供用開始することができた。 ○今後は、適切な管理運営を行うとともに、市民利用や大会誘致等、利用促進を積極的に推進する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	2,354千円	2,650千円	296千円	88.8 %	課	生涯学習課
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額		
	事	09 高齢者教育事業				2,850千円		
	細事	01 高齢者教育事業	府補 ぎょうと地域連携交付金（高齢者教育事業） 1,000千円 諸収入 社会教育事業等参加料 737千円	主な財源				
総合計画基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〔 27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〕						
目的		高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験をいかした地域活動を推進する。						
主要な事務・事業の概要	○高齢者大学			○報償費（講師謝金） 1,522千円				
	・受講者数 783人（令和3年3月31日現在）							
	・実施地域 各町域（各地域公民館主管）			○旅費 24千円				
	・事業の概要			○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費） 195千円				
	学園	一般講座	教養講座			○委託料（バス運転委託料） 362千円		
	回数	延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内 容	○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料等） 251千円	
	峰山	7回 216人	96回	1,207人	10講座	写真、民謡 等		
	大宮	5回 225人	28回	393人	6講座	庭木剪定、歌ごえ 等		
	網野	7回 488人	130回	2,200人	11講座	習字、水彩画 等		
	丹後	5回 163人	48回	539人	9講座	詩吟、俳句 等		
弥栄	6回 211人	43回	453人	8講座	絵手紙、歴史 等			
久美浜	6回 180人	50回	540人	7講座	古典文学、ビライイ 等			
合計	36回 1,483人	395回	5,332人	51講座				
※合同講座を含む			成果・課題 ○新型コロナウイルス感染予防のため、計画通りの事業実施ができなかったが、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○減少傾向にある参加者の増加に努めるとともに、より一層の高齢者の社会参加の促進と学習の成果を地域活動等にかき取組を推進する必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	810千円	863千円	53千円	93.8 %	課	生涯学習課
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額		
	事	10 家庭教育事業				1,860千円		
	細事	01 家庭教育事業	府補 家庭教育支援基金形成事業補助金 (2/3)			428千円		
総合計画基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〔 27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〕		主な財源				
目的	発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。							

主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施したほか、PTA活動への支援を行った。			87千円																	
	○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金等） 562千円																				
	子育て経験者や専門的な知識・経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行った。																				
	※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計46人																				
	<table><tr><td>事業</td><td>回数</td><td>延べ参加者数</td></tr><tr><td>子育て交流会</td><td>6回</td><td>101人</td></tr><tr><td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td><td>13回</td><td>393人</td></tr><tr><td>子育て広場</td><td>7回</td><td>158人</td></tr><tr><td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td><td>2回</td><td>36人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>28回</td><td>688人</td></tr></table>			事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	6回	101人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	13回	393人	子育て広場	7回	158人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	2回	36人	合 計	28回	688人
	事業	回数	延べ参加者数																		
	子育て交流会	6回	101人																		
	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	13回	393人																		
	子育て広場	7回	158人																		
	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	2回	36人																		
合 計	28回	688人																			
※広報紙発行：1回																					
○子育て講座（講師謝金等）																					
<table><tr><td>事業</td><td>回数</td><td>延べ参加者数</td></tr><tr><td>乳幼児期子育て講座</td><td>3回</td><td>60人</td></tr><tr><td>思春期子育て講座</td><td>1回</td><td>70人</td></tr><tr><td>親子リフレッシュ体操教室</td><td>17回</td><td>331人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>21回</td><td>461人</td></tr></table>			事業	回数	延べ参加者数	乳幼児期子育て講座	3回	60人	思春期子育て講座	1回	70人	親子リフレッシュ体操教室	17回	331人	合 計	21回	461人				
事業	回数	延べ参加者数																			
乳幼児期子育て講座	3回	60人																			
思春期子育て講座	1回	70人																			
親子リフレッシュ体操教室	17回	331人																			
合 計	21回	461人																			
○京丹後市PTA協議会補助金 161千円 ・各種研修会の参加、安全会掛金等への助成																					
成果・課題	○新型コロナウイルス感染予防のため、計画通り事業実施ができなかったが、子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○課題を関係機関と共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	34,410千円	34,424千円	14千円	99.9 %	課	生涯学習課
	目	01 社会教育総務費				(参考)当初予算額		
	事	11 文化芸術事業				33,975千円		
	細事	01 文化芸術事業	府補 繰入金	きょうと地域連携交付金（文化芸術振興事業） 韓哲・まちづくり夢基金繰入金		15,900千円 469千円		
総合計画基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕	主な財源					
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。							
主要な事務・事業の概要	文化芸術活動の推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた文化芸術に触れる機会の提供及び市民による文化活動の充実に努めた。			○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300 千円 丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門（3事業）、展示部門（2事業）、セミナー（3事業）を支援した。				
	○京都：Re-Search実行委員会負担金 2,000 千円 若手アーティスト5人、ゲストアーティスト1組、地域クリエイター3人が本市の歴史・自然・文化をテーマにした現代アート作品を創作し、浅茅川区民会館などの市内各所で展示会を開催した。 ・展示会 14日間開催、延べ参加者数：3,132人			○小町ろまん全国短歌大会開催補助金 111 千円 ・短歌募集：令和2年7月1日～令和2年9月9日（投稿数） 一般の部 401首、学生の部 3,655首 合計 4,056首 ※表彰式等の大会は中止				
	○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000 千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止・延期となったが、映画上映やコンサート、各種公演の実施など、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及事業を支援した。			○モノオペラ「細川ガラシャ」京丹後公演実行委員会補助金 469 千円 ・モノオペラ公演 11月22日（京都府丹後文化会館） 486人 ・田中彩子さんと子どもとの交流会 11月23日（峰山こども園） 57人				
	○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500 千円 ・加盟団体 135団体、1,825人 ※令和3年3月末現在 新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった「総合文化祭」の代替事業として、「小さな発表会配信事業」を支援したほか、支部事業など市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動を支援した。			成果・課題 ○新型コロナウイルス感染予防のため計画通り、実施ができなかった事業もあったが、幅広い世代が優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。 ○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立運営に向けて支援していく必要がある。 ○文化芸術に関する施策を総合的、計画的に推進するため、京丹後市文化芸術振興計画策定に向け、令和3年度は、文化芸術振興審議会を立ち上げて審議する必要がある。				
	○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金 30 千円 閉校になった旧網野小学校、旧磯小学校の校歌保存事業を支援した。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	321,947千円	322,344千円	397千円	99.8 %	課	生涯学習課	
	目	02 公民館費				(参考)当初予算額			
	事	02 地域公民館管理運営事業				358,813千円			
細事	04 丹後地域公民館管理運営事業		使用料	丹後地域公民館使用料			1千円		
総合計画 基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		諸収入	社会教育事業等参加料			21千円		
	〔 27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〕		市債	社会教育施設整備事業債（過疎対策債）			319,400千円		
目的	丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	丹後地域公民館の耐震補強等改修工事を行うとともに、代替施設を利用して地域の生涯学習と交流を促進する機会と場所の提供を行った。								
	＜利用状況＞								
	公民館代替施設【丹後庁舎】				公民館代替施設【旧豊栄小学校】				
	区 分	利用回数	利用者数	区 分	利用回数	延べ利用者数			
	101会議室	11回	704人	会 議 室	14回	303人			
	202会議室	28回	209人	和 室	5回	90人			
	204会議室	46回	1,178人	調理実習室	10回	159人			
	305会議室	70回	1,136人						
	306会議室	21回	777人						
	合 計	176回	4,004人	合 計	29回	552人			
	＜主な公民館事業＞								
	事業種別	事業・講座名	回数	延べ参加者数	決算額				
成人教育	ジオ・山野草ウォーク（3館合同実施）	3回	52人	12千円					
	トレッキング講座	1回	17人	14千円					
	ふるさと探検チャレンジウォーク	1回	8人	—					
成果・課題	○報償費（講師謝金ほか）				38千円				
	○需用費				161千円				
	・ 消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料（地域公民館止水バルブ漏水修繕）								
	○役務費				266千円				
	・ クリーニング手数料、ごみ持込処理手数料、ピアノ調律手数料、								
	・ 廃家電処理手数料、水道開栓手数料、電話・備品移設手数料				247千円				
	・ 火災保険料				19千円				
	○委託料（自家用電気工作物保安管理業務委託）				15千円				
	○丹後地域公民館耐震補強等改修事業関係費				321,467千円				
	・ 役務費（ボイラー油引抜き洗浄撤去業務）				479千円				
	・ 委託料（耐震改修等工事監理業務委託）				7,771千円				
	・ 工事請負費（耐震改修等工事、その他工事）				313,217千円				
○新型コロナウイルス感染予防のため、一部施設の使用制限を行ったり、計画通り事業を実施することができなかったが、可能な限り地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。									
○耐震補強工事を行い、施設の安全性を確保することができた。									
○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。									
○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者数の増加を図る必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	05 保健体育費	2,465千円	2,503千円	38千円	98.4 %	課	生涯学習課																					
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額																							
	事	01 スポーツのまちづくり推進事業				6,312千円																							
	細事	01 地域スポーツ推進事業																											
総合計画基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実 (27 多様な学びを支援する社会教育の充実)	主な財源																										
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進するとともに、スポーツを通じた交流機会を確保しスポーツ人口の拡大を図る。																												
主要な事務・事業の概要	○報償費		22千円	＜大会実施状況＞																									
	・はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金		18千円																										
	・入賞記念品（はしうど杯卓球大会）		4千円																										
	○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料）		241千円	<table><tr><th>大会名</th><th>開催日</th><th>参加者等</th></tr><tr><td>市長杯中学生野球大会</td><td>7/18(土)、19(日)</td><td>市内5校</td></tr><tr><td>京丹後市総合体育(交流)大会</td><td>9/6(日)～11/15(日)</td><td>一部のみ実施（7種目487人）</td></tr><tr><td>京都府民総合体育(交流)大会</td><td>10/4(日)～11/11(水)</td><td>一部のみ実施（5競技参加）</td></tr><tr><td>カヌースプリント秋季大会</td><td>10/31(土)</td><td>25人</td></tr><tr><td>弥栄町文化祭駅伝大会</td><td>11/3(火・祝)</td><td>7チーム、98人</td></tr><tr><td>はしうど杯卓球選手権大会</td><td>12/6(日)</td><td>90人</td></tr></table>					大会名	開催日	参加者等	市長杯中学生野球大会	7/18(土)、19(日)	市内5校	京丹後市総合体育(交流)大会	9/6(日)～11/15(日)	一部のみ実施（7種目487人）	京都府民総合体育(交流)大会	10/4(日)～11/11(水)	一部のみ実施（5競技参加）	カヌースプリント秋季大会	10/31(土)	25人	弥栄町文化祭駅伝大会	11/3(火・祝)	7チーム、98人	はしうど杯卓球選手権大会	12/6(日)	90人
	大会名	開催日	参加者等																										
	市長杯中学生野球大会	7/18(土)、19(日)	市内5校																										
	京丹後市総合体育(交流)大会	9/6(日)～11/15(日)	一部のみ実施（7種目487人）																										
	京都府民総合体育(交流)大会	10/4(日)～11/11(水)	一部のみ実施（5競技参加）																										
	カヌースプリント秋季大会	10/31(土)	25人																										
	弥栄町文化祭駅伝大会	11/3(火・祝)	7チーム、98人																										
	はしうど杯卓球選手権大会	12/6(日)	90人																										
	○委託料		471千円																										
	・カヌースプリント秋季大会運営委託料		330千円																										
	・市長杯中学生野球大会開催委託料		101千円																										
・弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料		40千円																											
○負担金、補助金及び交付金		1,731千円																											
・京都府民総合体育大会派遣費補助金		302千円																											
・京丹後市総合体育大会開催補助金		1,388千円																											
・京丹後チャレンジ実行委員会補助金		41千円																											
※開催に向けて発注済であった消耗品費、チラシ印刷費等への補助。																													
			成果・課題	新型コロナウイルス感染予防のため、一部の大会は実施できなかったが、市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	6,353千円	6,881千円	528千円	92.3 %	課	生涯学習課
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額		
	事	02 国際ｽﾎﾟｰﾂ推進事業				22,432千円		
	細事	01 ﾎﾞﾘﾝｸﾞ・ｳｯﾁﾞｰ・ﾌﾞﾘｯｼﾝｸﾞ・ｳｯﾁﾞｰｽﾄｯｸｽ推進事業				市債		
総合計画基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 〔 04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 〕	主な財源					
目的	東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域の活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	【久美浜湾カヌーセンター整備】		6,300千円	【パラリンピック関連事業】				
	○需用費（修繕料）		1,595千円	＜パラスポーツ体験会＞				
	・ カヌー艇収納ラック・カヌー艇庫側溝修繕		1,595千円	開催日：令和3年12月12日（土）				
	○委託料		1,087千円	会場：大宮社会体育館				
	・ 荷物運搬作業委託料		519千円	講師：阪根 泰子 氏（アテネパラリンピック車いすバスケットボール日本代表）				
	・ 産業廃棄物処理委託料		568千円	内容：講演会、パラスポーツ体験				
	○備品購入費		3,391千円	○需用費（消耗品費）				
	・ カヌーセンター内備品		3,391千円	○旅費（費用弁償）				
	（カヌー艇収納ラック 4台）							
	（ベンチプレス1台、シャフト2本、プレート24枚、ゴムマット2枚）							
	○負担金、補助及び交付金（下水道加入分担金）		160千円	参考				
	○その他（消耗品費、役務費）		67千円	繰越明許費を除いた最終予算額				
				6,731千円				
				実質的な予算執行率				
				94.4%				
			令和3年度への繰越事業					
			150千円					
			オリンピック事前合宿視察受入事業					
			成果・課題					
			○スペイン及びポルトガルカヌーチームの、本市におけるオリンピック事前合宿受入れ準備を進めることができた。					
			○パラスポーツ体験会では、障害者スポーツ、共生社会の実現についての理解を深める契機となった。					
			○継続的な事業の実施により、スポーツを通じたまちづくりを推進する必要がある。					

